

# 平家物語

地唄舞と平曲十仲間たちで綴る

THE TALE OF  
HEIKE



祇園精舎・千鳥 (俊寛)・八鳥

尼御前・先帝入水・二柱の足

六道

那須の母

日時：令和3年11月28日(日)  
14時開演 (13時開場)

場所：国立劇場小劇場



# 平家物語

仲間たちで綴る



平曲

菊央雄司



地唄舞

花崎杜季女



地唄舞

花崎しの



地唄舞

花崎叶和



物語進行

石村みか



地唄三味線

井上満智子



尺八

石川利光



地唄舞

増田鈴

## 平家物語

日本の鎌倉時代の軍記物語で、琵琶法師の語りで、語り継がれて芸能となっていました。

平清盛という稀代の英雄であり悪行の者の出現から、「平家にあらずんば人にあらず」とまで言われ、平家一門の滅亡までが描かれています。全編を通して当時の仏教の死生観、西方浄土への信仰が大きく影響を及ぼしています。

## 地唄舞

地唄舞は、白拍子の流れを汲む舞から派生し、江戸時代後期より、現在の二畳の空間で無限の世界を描く舞の型と世界観が出来上がってきました。制限された動きで濃縮された美を表現します。朗読のように、その人自身の思いを語る、その人自身の滲み出る個性が出るところに面白さがあるのではないのでしょうか。

## 平家（平曲）

耳なし芳一で有名な琵琶法師は、中世の頃から琵琶を伴奏に物語を語り、中でも平家物語を専門に語るものは平家（平曲）と呼ばれておりました。実は平家物語は文学作品になる前から琵琶法師により口伝承の語りものの音楽として成立し、その後、能や歌舞伎など様々な日本の芸能に取り込まれることになりました。